

1.新技術を用いた取組

[＜事例リストに戻る＞](#)

事例番号	①-(4)
事例名	スマートフォンアプリ「みっけ隊」による損傷箇所の通報受付
自治体名	京都府京都市
導入時期	平成 28 年 5 月
取組の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常のパトロールや、市民からの通報により公共土木施設の維持管理を行っており、より一層迅速かつ的確に維持管理を進めるため、本市の強みである市民力、地域力を生かした市民協働型の維持管理を目指し「みっけ隊」アプリを構築した。</li> </ul>
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みっけ隊」アプリで、市民から写真と位置情報を用いて、公共土木施設の損傷状況を投稿いただき、その情報を基に補修等を行う。</li> <li>・ 投稿された損傷の対応状況について、「みっけ隊」アプリで写真とコメントを付けてお知らせし、進捗状況を確認することができる。</li> </ul>
<p>内 容</p>	<p>[システム概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みっけ隊」アプリを用いて、市民から公共土木施設の損傷状況を投稿いただく。</li> <li>・ 的確に損傷状況の把握ができるよう、撮影した損傷写真と位置情報にコメントを付けて投稿いただく。投稿された損傷の対応状況を写真とコメントを付けて返信し、アプリや HP で進捗状況を確認できる。</li> <li>・ 投稿された内容は、電話等による通報を地図上にデータ入力する GIS システムと連携させている。</li> </ul> <div data-bbox="437 1126 1442 1693" style="text-align: center;"> </div>

図 スマートフォンアプリ「みっけ隊」の画面例



図 投稿情報のホームページ画面

出典：京都市 HP「みつけ隊 ～美しい京を守る応援隊～」

[活用状況]

- ・ 投稿を促す取り組みとして「ミッション」を設定し、市民に対して「京都マラソンを応援しよう！ ～道路、公園施設の損傷編～」などの調査協力を発信している。

[周知方法]

- ・ SNS, 市民しぶん, 情報誌等の多様な媒体を活用し、みつけ隊アプリを周知するとともに、多くの市民が集まるふれあいまつり等のイベントにおいて周知し、「みつけ隊」アプリの利用を促進する取組を行っている。

[通報状況]

- ・ 令和元年度末時点のみつけ隊通報件数 約 4,600 件
  - ・ 令和元年度通報件数 約 13,000 件(うち「みつけ隊」:約 1,150 件(約 8.5%))
- ※通報件数は、導入以前と同程度である



<p>取組によって 得られた効果</p>	<p>・ みつけ隊アプリから写真と位置情報をコメント付きで投稿いただくことにより、損傷状況が的確に把握できるため、事前の準備や緊急性の判断等、電話での通報に比べて対応の効率化が図られている。</p>
<p>苦労した点</p>	<p>・ 電話等の通報を地図上にデータ入力する GIS システムとみつけ隊のデータを連携するシステム開発に苦労した。</p>
<p>工夫した点</p>	<p>・ アプリ開発の際に市民とのワークショップを開催し、“対応状況が分かるようにしてほしい”との意見をいただいたため、通報に対する対応状況を受付、調査、完了の段階毎に返信し、補修作業の進捗状況や内容をアプリ上で随時確認できるようにした。</p>
<p>その他</p>	<p>・ 電話等の通報は、GIS システムにデータを入力している。</p>
<p>連絡先</p>	<p>京都市 建設局土木管理部土木管理課 [電話番号 075-222-3568]</p>